

2020年2月16日(日)朝10:10～ 主の降誕節第8、自由交歓会等
2月第3共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題:**わたしの軛を負い、
わたしから学びなさい(29節)**

聖書:マタイ 11章28～30節

<口語訳>

新約聖書17～ 頁

マタイ 11章28～30節

<新共同訳>

新約聖書21～ 頁

マタイ 11章28～30節

<新改訳第3版>

新約聖書21～ 頁

マタイ 11章28～30節

<塚本訳>

新約聖書99～ 頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。

◇本日の**マタイ11:28～30節**は、**29節**の「**わたしの軛を負い、わたしから学びなさい**(29節)」が、主のメッセージで、**カペナウム、コラジン、ベツサイダ**等への罪の警告、この世の「**賢い人・知恵者**」ではなく、「**幼児**」を高く評価して、**神**を「**讚美**」して下さったりした後のことばです。

⇒「**軛**」は、2頭の牛を結びつける道具で、牛には重荷でも、農耕する農夫に楽に作業できる便利なものでした。

⇒「**わたしの軛を負う**」のは、「**わたしの軛**は負いやすく**軽い**(30)」と、主は言われたように、**軛**であって、**軛**でないという逆説教が語られているのです。

⇒農耕作業が嫌だということ以外、作業の道具は、牛が担ってくれますので、作業自体は楽なのです。

本論；

◇本日、**マタイ書11章28～30節**から主の**使信**に**思い・心**νοῦς(nouj)をとめます。

◆**マタイ11章28～30節**；**使徒マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様**が、「**わたしの軛を負い、わたしから学びなさい**(29節)」と言われたみことばを**神の秘密(神の奥義)**を聴き、素直に従っている「**幼児**」のように**神の秘密(神の奥義)**を悟って**い主の弟子たち**を「**励まして**」おられるのです。

◇**11:28～30節**；**塚本訳**◆**疲れている者は来なさい**

「28 さあ、疲れている者、重荷を負っている者はだれでも、わたしの所に来なさい、休ませてあげよう。

29 わたしは心がやさしく、高ぶらないから、わたしの軛を負ってわたしの弟子になりなさい、そうすれば『魂の休息が得られよう。』

30 わたしの軛は甘く、わたしの荷は軽い。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**28～30節**；「さあ、疲れている者、重荷を負っている者はだれでも、わたしの所に来なさい、休ませてあげよう(28)、わたしは心がやさしく、

高ぶらないから、わたしの軛を負ってわたしの弟子になりなさい、そうすれば『魂の休息が得られよう。』(29)、わたしの軛は甘く、わたしの荷は軽い(30)」、「**御子イエス・キリスト様**」は、「わたしの軛は甘く、わたしの荷は軽い(30)」ことを前提に、「**わたしの軛を負い、わたしから学びなさい(29節)**」と、「命令」しておられるのです。

⇒「**主の重荷**」を負うことは、現代風に言い直すと乗っているだけで農耕してくれる耕運機を使っているので、随分と楽です。

⇒「**OA師**」が、ご指摘のように荷が軽いだけのことでなく、罪の義を問うておられるのです。

⇒教会に来ている人は、苦勞がない、疲れないのではありません。

⇒休むのも、何もしないことではなく、罪の重荷を主に担って頂くことで、もっと働きやすくなるのです。

⇒教会は、お互いに、「**軛**」を負わすのではなく、主が、軽い「**軛**」を背負わせて下さるだけでなく、主が、「**軛**」を背負う私たちが背負って下さっていることを、喜び合い、主を「**讚美**」し合えるのです。

⇒**YK師**(東北、京都、名古屋及びノートルダム清心女子大学大学院で教鞭を取られた量子力学の専門家)が、「**WKシスターの生涯**」を記録しておられます。

⇒「置かれた場所で咲いた**WK師の生涯**」であったことを、「**人間には上下はありません。しかし、人格には上下があります**」の**WK師**を鍵句に、「ノートルダム清心女子大学、高校の学長・理事長」をされたことの苦難を記しておられるのです。

⇒教育方針や経営方針に反対する教育者の中で**WK師**は苦悶しつつ、先の「**人間には上下はありません。しかし、人格には上下があります**」が出てきたのであり、「置かれた場所で咲きなさい」の著書が、発刊されたのです。

⇒主は、「**わたしの軛を負い、わたしから学びなさい**(29節)」と言い、「**わたしの軛は負いやすく軽い**(30)」、「**わたしの軛を負う**」と仰せです。

⇒**WK師**は、保身や弁解に走らず、**神の怒り**の前に、裁きを主に委ね、学生たちには、変わらない笑顔で接し、主への「**讚美**」に生き、愛情をもつてのぞみ、苦悩を顔の表情に現すことはなさいませんでした(2016年12月31日帰天)。

結論；

◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。

◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。

◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。

◇本日の**マタイ11:28～30節**は、**29節**の「**わたしの軛を負い、わたしから学びなさい**(29節)」が、主のメッセージで、カペナウム、コラジン、ベツサイダ等への罪の警告、この世の「**賢い人・知恵者**」ではなく、「**幼児**」を高く評価して、**神**を「**讚美**」して下さったりした後のことばです。

⇒「**軛**」は、2頭の牛を結びつける道具で、牛には重荷でも、農耕する農夫に楽に作業できる便利なものでした。

⇒「**わたしの軛を負う**」のは、「**わたしの軛**は負いやすく**軽い**(30)」と、主は言われたように、**軛**であって、**軛**でないという逆説教が語られている。

⇒農耕作業が嫌だということ以外、作業の道具は、牛が担ってくれますので、作業自体は楽なのです。

⇒イザヤ書53:7 口語訳 彼はしえたげられ、
苦しめられたけれども、口を開かなかった。
ほふり場にひかれて行く小羊のように、また毛
を切る者の前に黙っている羊のように、口を
開かなかった。

